

市民のひろば



☎857-8585(住所不要) 市役所秘書課広報係(☎1111)
Eメール hishok@city.sasebo.nagasaki.jp

おたよりコーナー

皆さんからお寄せいただいたお便りをご紹介します。ご投稿いただいた皆さん、ありがとうございました。

広報させば 8月号に寄せて
(棚方町・八重野 さくらさん)

大久保小の典士君の「サセボスクールパーク」、楽しい未来に、思わず引き寄せられました。夢がかなうのは次の百年後でしょうか。当然私も空から佐世保を見ていることでしょうか。

でも典士君の夢は、これからもどんどんふくらんでいくのでしょうか。ミニ九十九島付きなど、思いもよらないことです。
「未来佐世保へ ふくらんでいく 子らの夢」
「未来への 誇り 増す 九十九島」



広報させば「100年を探れ！」を見て
(棚方町・浜田 光子さん)

私は51歳の主婦です。昭和のさせば、明治のさせばの当時の写真を見て、今は面影がないサセボにびっくりしました。でも、こうして100年前のサセボの様子を写真でも見せていただいたことを、広報を作ってくれたスタッフの方へ感謝いたします。

100年年表で、サセボが村から市になった年も知り、サセボ市民で良かったなと思っています。大切に保管して、いい思い出に残しておきたいと思います。スタッフの皆さん、ご苦労さまです。

(広報係から)
「広報させば」では、毎年夏休みの時期には、子ども向けの特集を企画しています。今回の8月号に対しては、「知らなかったことばかりで、興味深かった」「夏休みの自由研究にとっても役に立った」など、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。今後も親子で読んでいただけるような特集を企画し、内容の充実を図っていきます。皆さんからのご提案もお待ちしています。

ジェンダーは、私たちの意識や生活の中に溶け込んでいて、知らず知らずのうちに、それに縛られた言動をすることも多いようです。

身近な生活の中のジェンダーに気づき、それをなくし、性差のない(ジェンダー・フリーな)社会を目指そうという動きが広がっています。

※16ページの「させば男女共同参画セミナー」をご覧ください。



これってどんな意味

行政用語やカタカナ用語で、「耳にはするけれど、よくわからない」というものがあれば、お寄せください。

「ジェンダー」とは?

「男だから」「女だから」という理由で、異なる役割が期待されるなど、社会のシステムや文化によって、いつのまにかつくられた性別や性差のことです。

広報クイズ

はがきに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、10月23日必着でどうぞ(紙面の中にヒントがあります)。

- 問題① 10月19日、総合グラウンドで、小・中学生の「30人〇〇脚大会」があります。
問題② 右のマークは「〇〇マーク」。
問題③ 「健康と福祉フェスティバル」では、「〇〇ウォーキング」が同時開催されます。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書券をプレゼント。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※前回の答えは、①12 ②6 ③九重でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

募集しています

市政へのご意見は「ご意見有用」にどうぞ
市政に対する建設的なご意見をお寄せいただくコーナーです。
書面に郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を書き、「ご意見有用」担当あてと明記してください。

おたよりを
お待ちしております

最近印象に残った出来事、子育ての悩みなど、皆さんのお便りをお寄せください。



あなたの「思い出の一枚」が
自宅に眠っていませんか

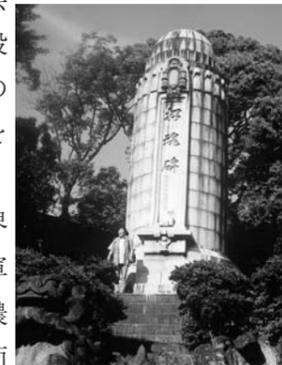
昔の佐世保の様子が見える写真と、それにまつわるお話を、広報係「思い出の一枚」あてにお送りください。

お借りしたお写真は、郵送でお返しします。

歴史散策 447 工 廠 現 業 員 の 招 魂 碑 (八幡町)

八幡宮の正面参道の石段脇に、高さ10メートルほどの招魂碑が建っています。石造りの堂々とした円柱状の碑で、大正10(1921)年10月10日、佐世保海軍工廠の現業員共済会の手で建てられました。建設委員長は石井祥吉氏で、久留米の大坪義方という人が撰文と文字を書いています。

当時の海軍工廠は、第一次世界大戦による特需景気も冷え、海軍軍縮条約が成立して不況の影が濃くなっていました。しかし、半年では、佐世保商業銀行、西肥バス、玉屋デパート開業など、軍優先に代わって市民の顔が表に出てきた時代でした。



招魂碑の銘板は格調の高い漢文で書かれています。「佐世保の地は鎮守府所在し、山勢透池海湾を抱く」と書き起こし、海軍工廠は軍港の機能維持に力を尽くしているが、明治22年の開庁以来、職務に殉じた者も少なくない。そこで職工現業員共済会が決議し招魂碑を建てたと由緒を記しています。

最後には「西海之濱 流芳千春 魏々貞珉 永示後人」の漢詩でしめくられています。佐世保海軍工廠は、最初13人の従業員で発足、日露戦争後4,000人、第一次世界大戦後は1万人を超えました。しかし、不況の深化で昭和初年にかけて人員整理で減少、太平洋戦争で激増、昭和20年の敗戦まで続きました。

(筒井隆義)

